

2023年4月期 第3四半期

決算補足説明資料

2023年3月 株式会社 伊藤園



自然が好きです。

2023年4月期 第3四半期実績

第3四半期 累計(2022年5月～2023年1月)

	2022年4月期		2023年4月期		増減率	
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	303,626	100.0%	328,454	100.0%	8.2%	
売上総利益	120,317	39.6%	125,185	38.1%	4.0%	
連	広告宣伝費	7,854	2.6%	8,158	2.5%	3.9%
	運送費	10,377	3.4%	11,114	3.4%	7.1%
	減価償却費	6,944	2.3%	5,970	1.8%	-14.0%
	販売費及び一般管理費	106,206	35.0%	109,313	33.3%	2.9%
	営業利益	14,111	4.6%	15,871	4.8%	12.5%
結	経常利益	14,656	4.8%	16,518	5.0%	12.7%
	特別損益	1,620	-	△ 425	-	-
	当期純利益	10,338	3.4%	10,185	3.1%	-1.5%

	2022年4月期		2023年4月期		増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	228,213	100.0%	239,972	100.0%	5.2%
売上総利益	85,789	37.6%	88,109	36.7%	2.7%
営業利益	11,263	4.9%	12,875	5.4%	14.3%
経常利益	12,366	5.4%	14,843	6.2%	20.0%

(単位：百万円)

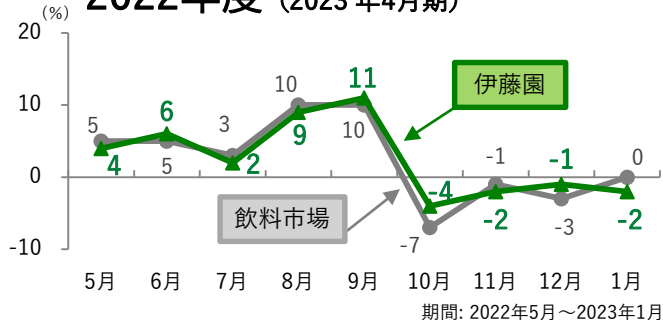
	上段：売上高 下段：営業利益	2022年4月期	2023年4月期	
		実績	実績	増減率
グループ会社	国内グループ	68,458	73,853	7.9%
		2,094	3,404	62.5%
	タリーズ	22,652	26,434	16.7%
	コーヒー	822	2,144	160.6%
	チチャス	8,912	8,981	0.8%
		587	501	-14.7%
	海外グループ	30,735	39,496	28.5%
		1,187	86	-92.7%
	米国事業	26,671	34,886	30.8%
		368	△ 782	-
		238,673千ドル	254,647千ドル	6.7%
		3,296千ドル	△ 5,708千ドル	-
	その他	4,063	4,609	13.4%
海外事業	819	868	6.0%	
連結消去	△ 23,780	△ 24,868	-	
	△ 434	△ 493	-	

為替レート (米ドル) 111.75 137.00 (期中平均)

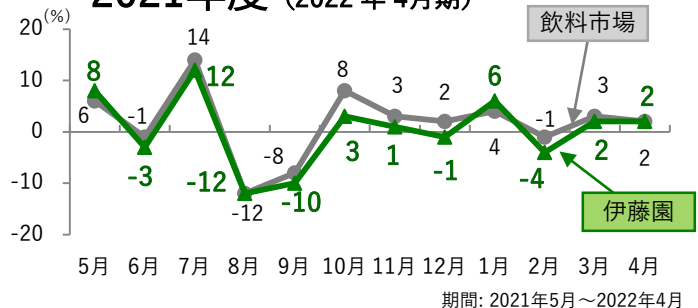
国内飲料市場と当社の動向

月次販売数量動向（対前年増減率）

2022年度（2023年4月期）



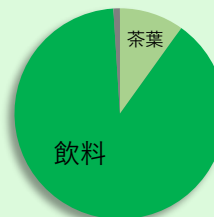
2021年度（2022年4月期）



伊藤園（単独）2023年4月期 第3四半期累計（2022年5月～2023年1月）

	増減率
売上高	+ 5 %
茶葉（リーフ）	△ 2 %
飲料（ドリンク）	+ 6 %
他	+ 8 %

金額ベース



構成比



茶葉 10% 飲料 89% 他 1%

（単位：万ケース）

カテゴリー別 飲料販売数量	2022年4月期			2023年4月期		
	実績	構成比	増減率	実績	構成比	増減率
飲料（ドリンク）	16,496	100 %	△ 0 %	16,986	100 %	+ 3 %
茶系飲料計	11,535	70 %	+ 0 %	11,971	70 %	+ 4 %
日本茶	10,495	64 %	+ 2 %	10,891	64 %	+ 4 %
中国茶	681	4 %	△ 25 %	647	4 %	△ 5 %
その他	359	2 %	+ 0 %	431	3 %	+ 20 %
野菜飲料	2,226	13 %	△ 11 %	1,989	12 %	△ 11 %
コーヒー飲料	1,232	7 %	+ 11 %	1,320	8 %	+ 7 %
ミネラルウォーター	506	3 %	+ 2 %	521	3 %	+ 3 %
炭酸飲料	312	2 %	+ 5 %	424	3 %	+ 36 %
果実飲料	322	2 %	+ 8 %	341	2 %	+ 6 %
その他飲料	359	2 %	△ 2 %	417	2 %	+ 16 %

2023年4月期 第3四半期 無糖飲料比率 **75%** 以上

飲料市場環境のピックアップ

- 2022年 8月 猛暑と人出の増加により活性化。
- 9月 観光需要は限定的も好調に推移。
- 10月 食品市場全体における価格改定に加え天候不順も影響し、消費マインドが停滞。
- 11月 コロナ感染第8波の予兆あり。また日照時間が大きく減少するなど天候不順も影響。
- 12月 コロナ禍による消費減からは回復するも、物価上昇により消費者マインドは鈍化。
- 2023年 1月 観光客が戻りつつある一方で節約意識も高まる。後半の強烈寒波も消費低調の要因に。

2023年4月期 通期予測

通期（2022年5月～2023年4月）

	2022年4月期		2023年4月期			
	実績	構成比	予測	構成比	増減率	
売上高	400,769	100.0%	418,000	100.0%	4.3%	
売上総利益	159,581	39.8%	162,300	38.8%	1.7%	
連	広告宣伝費	9,980	2.5%	10,592	2.5%	6.1%
	運送費	13,751	3.4%	14,291	3.4%	3.9%
	減価償却費	9,153	2.3%	8,310	2.0%	-9.2%
	販売費及び一般管理費	140,787	35.1%	142,300	34.0%	1.1%
	営業利益	18,794	4.7%	20,000	4.8%	6.4%
結	経常利益	19,971	5.0%	19,500	4.7%	-2.4%
	特別損益	372	-	△ 500	-	-
	当期純利益	12,928	3.2%	12,000	2.9%	-7.2%

	2022年4月期		2023年4月期		
	実績	構成比	予測	構成比	増減率
売上高	300,319	100.0%	312,500	100.0%	4.1%
売上総利益	114,135	38.0%	116,500	37.3%	2.1%
営業利益	15,685	5.2%	16,500	5.3%	5.2%
経常利益	17,409	5.8%	17,800	5.7%	2.2%

（単位：百万円）

	上段：売上高 下段：営業利益	2022年4月期		2023年4月期	
		実績	予測	実績	予測
グループ会社	国内グループ	90,390	96,853	7.1%	
		2,249	3,738	66.2%	
	タリーズ	30,060	35,000	16.4%	
		860	2,250	161.6%	
	チチヤス	11,844	12,014	1.4%	
		734	638	-13.1%	
	海外グループ	41,927	50,518	20.5%	
		1,472	162	-89.0%	
	米国事業	36,771	44,907	22.1%	
		555	△ 770	-	
		323,156千ドル	332,649千ドル	2.9%	
		4,881千ドル	△5,708千ドル	-	
	その他	5,155	5,611	8.8%	
		917	932	1.6%	
海外事業	△ 31,867	△ 41,871	-		
	△ 613	△ 400	-		
連結消去					

為替レート（米ドル）

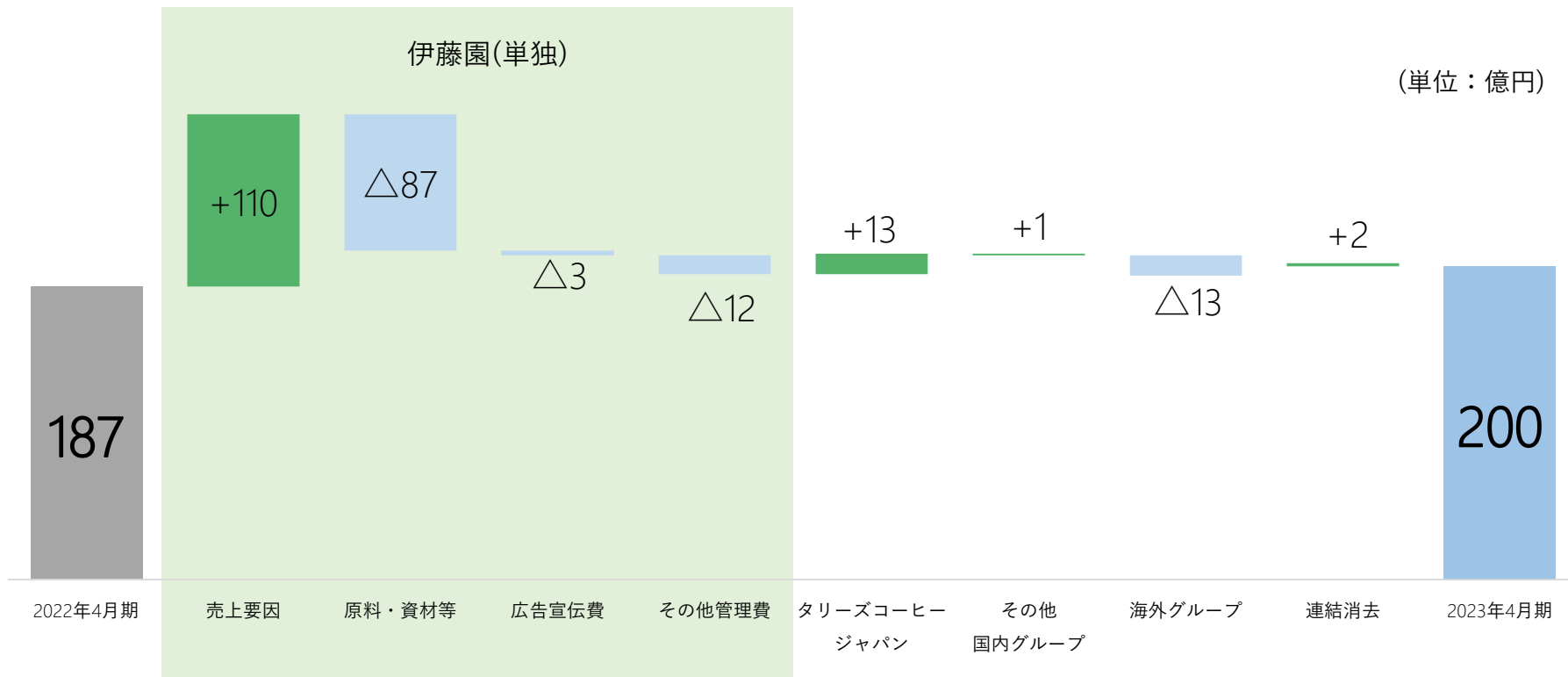
113.79

135.00（期中平均）

連結 営業利益増減要因 (通期予測)

2023年4月期 通期予測 (連結) 営業利益増減の主な要因

原材料・資材高の影響は、価格改定及びコストコントロールで対応し収益を確保



伊藤園(単独)の増減要因補足

- | | | | |
|------------------|------|------------------|------|
| • 売上増加による影響 | + 46 | • 原料・資材等の高騰による影響 | △ 87 |
| • 容器構成及び製品構成等の変化 | + 64 | • 広告宣伝費の増加による影響 | △ 3 |

日本茶製品について

第3四半期の状況

お〜いお茶

累計販売数量

期間：2022年5月～2023年1月

前年比 + 5%

- ▶ ホット対応「お〜いお茶」
今冬も販売好調 前年比 +7%
期間：2022年11月～2023年1月



- ▶ 新動画広告、海外で好評
2022年12月下旬から配信スタート
2月時点で約700万回再生
配信先：日本・米国・オーストラリア
タイ・インドネシア



茶殻の有効活用

環境課題への取り組み

茶殻をアップサイクルした
「茶殻配合防音パネル」 共同開発

- ▶ 2023年4月1日に新稼働する
東洋メビウス熊谷物流
センターの防音壁に採用



東洋メビウス熊谷物流センター 茶殻配合防音パネルを採用した防音壁

第4四半期以降 日本茶製品の展開

▶ お〜いお茶 桜パッケージ

日本・海外（上海・台湾・韓国）で同時発売
（1月23日～）



日本

上海・台湾・韓国

▶ 桜が香る緑茶飲料 さくら緑茶

桜葉の塩漬けを抽出して
緑茶とブレンドした
新しい緑茶飲料

2月6日新発売



春の象徴である「桜」を海外でも展開

▶ 「さらさらとける」インスタントシリーズ 環境課題への取り組み

お〜いお茶 抹茶入り緑茶・お〜いお茶 ほうじ茶・健康ミネラルむぎ茶

スティック包材はプラスチックから紙アルミへ
プラスチック使用量 約37%削減（従来品比）



3月20日発売予定

新しいチャレンジとなる
日本茶製品を発売予定

若者

女性

健康



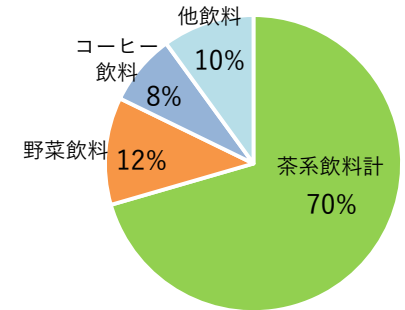
参考：伊藤園（単独）の状況

飲料カテゴリー別販売実績

第3四半期(2022年5月-2023年1月)

	第1四半期(5月～7月)			第2四半期(8月～10月)			第3四半期(11月～1月)		
	実績	構成比	増減率	実績	構成比	増減率	実績	構成比	増減率
飲料(ドリンク)	6,285	100%	+4%	6,133	100%	+6%	4,568	100%	△2%
茶系飲料計	4,501	72%	+4%	4,347	71%	+6%	3,122	68%	△0%
日本茶	4,148	66%	+6%	3,951	64%	+6%	2,791	61%	△2%
中国茶	228	4%	△12%	238	4%	+4%	180	4%	△6%
その他	124	2%	△4%	157	3%	+22%	150	3%	+49%
野菜飲料	731	12%	△9%	717	12%	△9%	539	12%	△15%
コーヒー飲料	439	7%	+10%	453	7%	+12%	427	9%	+0%
ミネラルウォーター	196	3%	+9%	184	3%	+3%	140	3%	△5%
炭酸飲料	156	2%	+47%	161	3%	+30%	106	2%	+33%
果実飲料	126	2%	+5%	115	2%	+6%	99	2%	+6%
その他飲料	131	2%	+18%	153	2%	+38%	132	3%	△3%

(単位：万ケース)



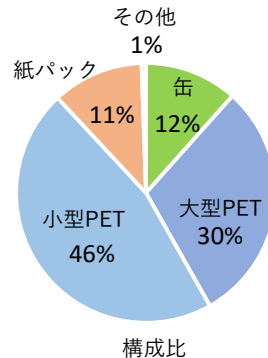
第3四半期累計 構成比

飲料容器別販売実績

第3四半期(2022年5月-2023年1月)

	実績	構成比対前年	増減率
飲料販売数量	16,986	-	+3%
缶	1,969	△0 pt	+2%
大型PET	5,132	△2 pt	△3%
小型PET	7,857	+2 pt	+9%
紙パック	1,933	△1 pt	△2%
その他	93	△0 pt	△11%

(単位：万ケース)



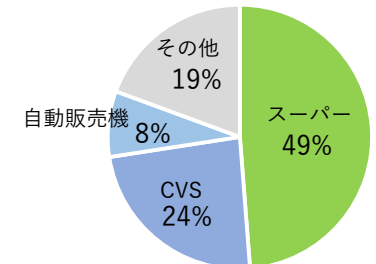
構成比

飲料チャネル別構成比

第3四半期(2022年5月-2023年1月)

	構成比対前年	増減率
スーパー	△2 pt	△0%
C V S	+0 pt	+3%
自動販売機	△0 pt	△0%
その他	+2 pt	+13%

(数量ベース)



構成比



自然が好きです。

当資料は、あくまで伊藤園をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

さらに当資料に記載されている市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なしに変更することがありますのでご注意ください。